

インフォメーション

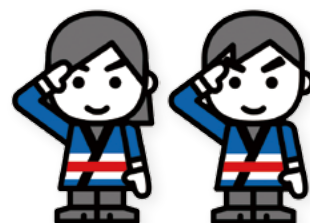


市消防団夏季点検の様子 (平成28年8月21日)

伊万里市消防団 各分団の

ホープを紹介しします

市消防団は、大切な人や大好きなまちを火災などの災害から守るため日夜頑張っています。現在市内には11の分団があり、988人の団員が災害現場に出動したり、災害の警戒に当たったりして地域の安全・安心のために活躍しています。ここでは、その団員の中から、各分団のホープを紹介します。



伊万里分団

第4部 (団員)
松尾 亨
(脇 田)



少しでも地域の役に立てればと思い入団しました。右も左もわからないまま、ポンプ操法大会に出場し、緊張しながらも一杯頑張りました。とてもいい経験になり、今後も地域を守る一員として消防団活動に取り組んでいきたいです。



団本部

ラッパ隊 (団員)
前川 知香
(大 里)



ラッパ隊が吹奏している姿をテレビで見て、かっこいいと思い入団しました。学生の頃に吹奏楽部だった経験を活かすこともでき、女性の隊員も数人いるので楽しく活動しています。活動の幅が広がってきているラッパ隊。一緒にやってみませんか。



黒川分団

第4部 (団員)
崎田 英孝
(横 野)



『自分たちの町は、自分たちで守る』の使命感と郷土愛の精神で、地元の事情などに通じ地域に密着した消防団員になることを目指しています。先輩の教育訓練を受け、即時に災害に対応できるように頑張ります。



大川内分団

第3部 (団員)
岩崎 義弥
(福 野)



伊万里市の安全・安心のために活動されている消防団に入団することで体で感じ理解を深め、お役に立てるよう邁進します。ご指導よろしくお願ひします。



大坪分団

第7部 (団員)
川原 嗣郎
(富士町)



地域のために役に立ちたいとの思いから平成25年4月に入団しました。『地域住民の安全・安心を守る』という思いを胸に日々の消防団活動を頑張っています。ラッパ隊にも所属しており、その活動をととして火災予防や消防団活動のPRをしていきたいです。



大川分団

第2部 (団員)
梅崎 陽平

(駒鳴)



生まれ育った地域の役に立ちたいと思い平成23年4月に入団しました。消防団活動を通じて地域の人たちとの繋がりもより一層深まりました。これからも地域の仲間と共に安全・安心な町づくりに取り組んでいきたいと思っています。



南波多分団

第2部 (団員)
前田 常樹

(笠樵)



平成28年4月に入団。当初は消防団の活動はさまざまで、災害活動をはじめ訓練や防災活動など幅広いことに戸惑いました。しかし、先輩方のご指導により、今では、地域に貢献できる団員となり、自己研鑽に励み頑張っています。



波多津分団

第8部 (団員)
高森 啓太

(辻)



22歳の時に入団しました。それまではあまり交流がなかった少し歳の離れた先輩方と一緒に活動をし、地域との繋がりが強くなりました。子供も生まれたので、これからも一層地域の安全・安心を守っていききたいと思っています。



東山代分団

第4部 (団員)
鳥巢 智則

(国見)



昨年入団して1年になります。消防団活動については、職場の消防団の先輩方に聞いて何となく知っていました。しかし、いざ自分が団員になって活動すると改めて大変さを知る日々です。先輩方に学びながら地元の役に立てるように頑張っています。



二里分団

第4部 (団員)
石丸 悠輔

(東八谷)



平成28年4月に入団しました。入団してすぐにポンプ操法大会に出場し、チームワークの大切さを学びました。災害がいつ起こるか分からない中で、被害を最小限にとどめること。また、地域の皆様が安心して生活できるような消防団員を目指します。



松浦分団

第2部 (団員)
松尾 佳晃

(東分)



平成28年4月に入団しました。我が子を授かり、この子のためにも安全・安心な町づくりに貢献したいと思い入団しました。実際に活動を行ってみると、地元の方たちの期待の大きさを肌で感じました。地元を守る消防団員として頑張ります。



山代分団

第1部 (団員)
吉田 健太

(楠久)



平成21年に入団し、防災や災害活動に力を入れてきました。地域の方々からの消防団への信頼や期待の大きさを感じています。自分が住んでいる町の安全・安心の一助となれるよう先輩方の指導を仰ぎ、また後輩たちの手本となるよう活動していきます。

市消防団では新団員を募集しています

消防団員は、日常は各自の職業に従事しながら、災害が発生した際には消防署と連携して消火・防災活動などに活躍しています。地域における消防防災のリーダーとして、平時・非常時を問わずその地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を担います。また、近年は、女性の消防団への加入も増加しており、特に一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。

市内に居住または勤務している人で、入団を希望される方は消防調整課へ問い合わせてください。

● 問合せ 消防調整課消防団係

☎ 23 2116

議会報告

平成29年度第1回定例会

平成29年伊万里市議会第1回定例会が、3月1日から24日まで開かれました。今回は、平成29年度予算議案10件のほか、条例議案9件、一般議案5件、平成28年度補正予算議案6件、諮問1件、議会議案2件の審議、また、一般市政に対する質問などが行われました。

審議の結果、提出議案などは、原案のとおり可決、承認、同意、異議ない旨答申されました。主な内容は次のとおりです。

条例議案

犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者などのための相談窓口の設置や、見舞金の支給などの支援を行うため、条例を制定したものです。

ビジネス支援オフィス条例

事務系企業の誘致による雇用の増大や地域の産業の振興を目的として、ビジネス支援オフィスを設置するため、条例を制定したものです。

留守家庭児童クラブ条例の一部を改正する条例

黒川児童クラブを2つのクラブに分割するとともに、波多津児童クラブと波多津東児童クラブを統合するため、改正したものです。

税条例等の一部を改正する条例

地方税法などの改正に伴い、住宅ローン減税の延長や軽自動車税環境性能割の創設などを行うため、改正したものです。

予算議案

平成29年度一般会計予算

既存事業の適正化を徹底しながら、ふるさと応援寄附金を活用するなど、堅実でありながらも、子育てや教育環境の充実、防災の推進などを図るために、限られた財源を効果的に配分した予算を編成しました。予算総額は、248億700万円です。

平成29年度予算の概要は、この『広報伊万里』と一緒に配布している『平成29年度予算特集号』に掲載しています。

平成28年度一般会計補正予算(第11号)

各種補助事業の確定などに伴い、一般会計の歳入歳出予算の総額から1億7985万3000円を減額し、補正後の予算総額は、274億6700万9000円となりました。

※歳出補正の主なもの

- ▽バス交通支援事業 6724万円
- ▽ふるさと応援基金(積立金) 3億5797万円
- ▽国民健康保険特別会計繰出金 938万円

- ▽障害者介護・訓練等給付事業 5801万円
- ▽港湾整備促進事業 750万円
- ▽伊万里・有田地区衛生組合運営負担金 2795万円
- ▽ごみ処理広域化推進事業 2316万円
- ▽農業経営安定等支援事業 1926万円
- ▽農業用排水路施設等整備事業 2093万円
- ▽森林・林業再生基盤づくり交付金事業 4175万円
- ▽防災行政無線施設整備事業 2億8299万円

水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

波多津簡易水道ほか6簡易水道を上水道に統合するとともに、花房地区を上水道の給水区域に追加するため、改正したものです。

一般議案

公平委員会委員の選任

委員 松尾宏子氏の任期が本年5月4日で満了することに伴い、新たに石本洋子氏を選任するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

諮問

人権擁護委員候補者の推薦

委員 富澤喜代美氏の辞任に伴い、新たに池田美恵子氏を推薦したものです。

議会議案

議会基本条例

議会の基本理念などを明らかにし、市民福祉の増進に寄与することを目的として、条例を制定したものです。

一般市政に対する質問

一般質問が3日間行われ、市政に関する諸問題について12人の議員から22項目の質問が行われました。

委員会報告

3常任委員会に付託された議案は、審査の結果、原案のとおり可決・承認すべきものと決定されました。また、2特別委員会から開催結果が報告されました。



組織体制の強化と人事異動

今回の機構改革は、平成 29 年で伊万里港が開港 50 周年を迎えるため、記念事業を実施するための部署を新設しました。また政策経営部内で外部に市の魅力を発信する機会の多い係を束ね、課名の改称を行いました。さらに、留守家庭児童クラブに係る業務量の増大に対応するための『留守家庭児童クラブ係』や、市全域への家読の普及を目的とする『うちどく推進室』を新設しました。

人事異動は、業務状況に応じた適正な定員管理を行うとともに、若手職員や女性職員の登用などにより、職員の意識改革の促進と資質の向上を目指しました。

組織体制の強化

政策経営部の再編

政策経営部内に『伊万里港開港 50 周年記念事業推進室』を新設しました。

また、移住・定住、ふるさと応援、婚活応援など市外に向け本市の魅力を発信する機会が多い係を束ね、これまでの『移住・定住・婚活応援課』を『伊万里暮らし応援課』に課名を改称しました。

教育委員会の再編

教育総務課内に『留守家庭児童クラブ係』を新設し、専任の係長と非常勤の専門員を配置しました。また、市民図書館内に『うちどく推進室』を新設し、市民図書館係長、学校教育課指導主事、生涯学習係長を兼務させ、市民図書館、学校、公民館の連携強化を図りました。

地域包括支援センターを2係制へ変更

地域包括支援センターと健康づくり課に分散していた介護予防関係事業を地域包括支援センターに集約し、『介護予防係』と『包括支援係』の2係体制としました。

道路河川課内の係名改称

業務内容が市民目線でわかりやすい係名にすることを目的に、道路河川課の『建設1係』を『道路係』に、『建設2係』を『河川係』にそれぞれ係名を改称しました。

若手職員の抜てき

産業部企業誘致・商工振興課長（50歳）、教育委員会生涯学習課長（50歳）、政策経営部伊万里暮らし応援課ふるさと応援係長（41歳）など、若手職員を重要ポストなどに登用しました。



↑ 辞令交付式で、塚部市長（左）に宣誓する新規採用職員

女性職員の登用

市民部健康づくり課長（管理職）のほか、出納室副室長、健康づくり課保健予防係長、教育委員会教育総務課留守家庭児童クラブ係長に女性職員を積極的に登用するなど、女性役職員を適所に配置しました。

- ▷部・課長 1人→1人（1人昇格、増減なし）
- ▷副課長・係長 37人→36人（5人昇格、1人減）
- ▷主査・主任 37人→36人（8人昇格、1人減）

退職者の補充

①平成 28 年度中の退職者

退職者 22人（定年退職 15人、早期退職 2人、普通退職 5人） ※職種内訳：事務職 13人、技術職 1人、保育士 1人、幼稚園教諭 1人、栄養士 1人、技能労務職 5人

②新規採用職員

新規採用職員 21人 ※職種内訳：事務職 14人、技術職 2人、保育士 2人、保健師 1人、社会福祉士 1人、管理栄養士 1人

異動者数

平成 29 年 4 月 1 日付け定期人事異動では、全体で 178 人の異動を行いました。

- ▷部長級 5人（男性 5人、女性 0人）
- ▷課長級 13人（男性 12人、女性 1人）
- ▷副課長級 25人（男性 17人、女性 8人）
- ▷係長級 44人（男性 32人、女性 12人）
- ▷主査・主任 28人（男性 14人、女性 14人）
- ▷一般職員 42人（男性 28人、女性 14人）
- ▷新規採用職員 21人（男性 11人、女性 10人）

伊万里市職員の人 事異動

(平成29年4月1日付)

※表記中の省略

(兼) 兼任、(併) 併任
(免) 兼務などを解くこと

◆3月31日付け退職

吉原伴彦、深江俊文、前田稔、山崎淳一、木戸正弘、中里昭、中島久代、川内幸人、松下裕慈、平井裕、古賀綾子、岡崎恵美子、松永典子、池田百合子、高木留美子、小川久子、田中誠子

◆4月1日付け人事異動

【部長級】

▽総務部理事(出向) 伊万里・有田消防組合 中村明広▽市民部長(兼) 福祉事務所長 中野大成▽総務部副部長(兼) 契約監理課長 橋口直紹▽政策経営部副部長(兼) 伊万里湾総合開発・国道対策課長(兼) 伊万里湾開港50周年記念事業推進室長 山口貴弘▽市民部副部長(兼) 福祉課長 桑本成司

【課長級】

▽(併) 総務部消防調整課長

角永慎二郎▽政策経営部企画政策課長(兼) 男女協働推進課長 東嶋陽一▽政策経営部財政課長 木寺克郎▽政策経営部伊万里暮らし応援課長 多久島功▽市民部人権・同和对策課長 山口聡▽市民部市民課長 小濱道隆▽市民部健康づくり課長 樋口奈美江▽産業部企業誘致・商工振興課長(兼) 企業誘致推進室長(兼) 就活支援室長 春田昌寿▽産業部観光課長(兼) 観光戦略室長 岩崎友紀▽建設部都市政策課長 原口功▽建設部地籍調査課長 原田蔵吉▽教育委員会生涯学習課長(兼) 青少年センター所長 松園家智▽教育委員会体育保健課長 梶原貴英

【副課長級】

▽総務部税務課副課長(兼) 市民税係長 谷川智浩▽総務部情報広報課副課長(兼) 市民サービス係長(兼) 消費生活センター係長 山口令子▽総務部契約監理課副課長(兼) 契約監理係長 中尾克也▽政策経営部企画政策課行財政改革推進室長(兼) 行財政改革推進室係長(兼) 伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 松尾貞裕▽政策経営部財

政課副課長(兼) 管財係長 青木健一郎▽政策経営部財政課副課長(兼) 財政係長 吉原正一▽政策経営部伊万里暮らし応援課副課長(兼) 婚活応援係長 中島康子▽政策経営部伊万里暮らし応援課副課長(兼) 移住・定住推進係長 幸島浩信▽市民部長寿社会課副課長(兼) 医療保険係長(兼) 総務部税務課収納対策室 岩崎克信▽市民部地域包括支援センター副所長(兼) 包括支援係長 橋口小百合▽市民部福祉課副課長(兼) 福祉総務係長(兼) 政策経営部伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 河上洋恵▽市民部福祉課副課長(兼) 保育係長(兼) 病後児保育室すこやか室長 井上泰志▽市民部伊万里保育園長 山本美子▽市民部大川保育園長 中山恵美▽産業部農業振興課副課長(兼) 農政企画係長(兼) 伊万里牛課副課長(兼) 伊万里梨課副課長 松尾利矢▽産業部農山漁村整備課副課長(併) 土地改良区副事務局長(兼) 庶務係長 浦川哲也▽建設部土木管理課副課長(兼) 管理係長(兼) 政策経営部伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 峯憲和▽建設部道路

河川課副課長(兼) 河川係長(併) 土地開発公社 松本慎市▽建設部地籍調査課副課長(兼) 調査2係長(兼) 資料係長 藤尾繁明▽水道部工務課副課長(兼) 維持係長 松尾俊彦▽水道部工業用水道課副課長(兼) 工業用水道係長 田中厚▽出納室副室長(兼) 係長 松尾さゆり▽教育委員会生涯学習課副課長(兼) 生涯学習係長(兼) 市民図書館 うちどく推進室副主幹 吉田みずほ▽教育委員会青少年センター副所長(兼) 係長(兼) 生涯学習センター副館長(兼) 生涯学習課生涯学習係 小林健二▽教育委員会体育保健課副課長(兼) スポーツ振興係長 力武輝彦

【係長級】

(係長) ▽総務部総務課行政係長(兼) 政策経営部伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 原利彦▽総務部防災危機管理課防災危機管理係長 中島英幸▽総務部税務課収納対策室係長 木寺洋司▽総務部情報広報課副課長 松尾忠徳▽総務部市民センター係長 松尾圭介▽(併) 総務部消防調整課消防団係長 奥本伸幸▽政

策経営部まちづくり課まちづくり推進係長(兼) 甲子園プロジェクト係長 大木早苗▽政策経営部伊万里暮らし応援課ふるさと応援係長 松本泰道▽政策経営部伊万里湾総合開発・国道対策課港湾振興係長(兼) 国道整備促進係長(兼) 国際戦略室副主幹(兼) 伊万里港開港50周年記念事業推進室係長(併) 土地開発公社 濱田智史▽政策経営部伊万里湾総合開発・国道対策課国道整備促進係副主幹(併) 土地開発公社業務係長(兼) 事業係長 前田政和▽政策経営部国際戦略室係長(兼) まちづくり課公共交通対策係長 西尾義久▽市民部人権・同和对策課隣保館副館長 芦原拓▽市民部市民課記録管理係長 原晶子▽市民部市民課記録管理係副主幹 久保泰二郎▽市民部市民課年金係長 前田千世▽市民部環境課生活環境係長 塚本典義▽市民部地域包括支援センター介護予防係長 川内晶子▽市民部健康づくり課保健予防係長 城島ゆかり▽市民部福祉課子育て支援センター ぼっぼ主任保育士 松尾真由美▽市民部伊万里保育園主任保育士 福田和子

▽市民部大坪保育園主任保育士 〓 力武千秋▽市民部牧島保育園主任保育士 〓 二股民子▽市民部松浦保育園主任保育士 〓 町田史子▽市民部大川保育園主任保育士 〓 永田恵子▽産業部企業誘致・商工振興課商工振興係長(兼) 就活支援室係長(兼) 政策経営部国際戦略室副主幹(兼) 伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 〓 古賀修▽産業部企業誘致・商工振興課企業誘致推進室係長(兼) 就活支援室係長 〓 佐々木慎二▽産業部観光課観光戦略室係長(兼) 政策経営部国際戦略室副主幹 〓 岡本英久▽建設部土木管理課公園・空き家対策係長 〓 岸川修二▽建設部道路河川課道路係長 〓 吉永幸治▽建設部下水道課維持係長 〓 畠山和也▽水道部管理課管理係長(併) 政策経営部伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 〓 末石雅彦▽水道部工務課工務係長 〓 鶴田宏樹▽農業委員会農地係長 〓 松林豊▽教育委員会教育総務課総務企画係長(併) 政策経営部企画政策課総合教育推進係副主幹(併) 伊万里港開港50周年記念事業推進室副主幹 〓 佐々木俊明▽教育委員会教育総務課留守家庭児童ク

ラブ係長 〓 太田美鈴▽教育委員会学校教育課学校教育係長 〓 内山直樹▽教育委員会生涯学習課同和教育係長(併) 市民部人権・同和对策課人権・同和对策係 〓 伴康之▽教育委員会大坪公民館副館長(併) 市民部市民課大坪分室係長 〓 松尾仁志▽教育委員会立花公民館副館長 〓 末吉建作▽教育委員会大川内公民館副館長(併) 市民部市民課大川内分室係長 〓 井本清文▽教育委員会波多津公民館副館長(併) 総務部波多津出張所主任 〓 久保克明▽教育委員会市民図書館係長(兼) うちどく推進室係長(併) 市民部市民課窓口係 〓 末次健太郎▽(出向) 伊万里・有田地区医療福祉組合 〓 小國八郎▽(伊万里・有田消防組合) 〓 梅村鉄三

〔主査・主任〕

▽総務部(主任) (併) 議会事務局 〓 前山博徳▽総務部(主査) 〓 大川内聡▽総務部(主査) 〓 田中隆太▽総務部(主査) 〓 福島美和▽(併) 総務部(主査) 〓 宝蔵寺淳▽政策経営部(主査) 〓 中山亮一▽政策経営部(主査) 〓 前田太郎▽政策経営部(主査) 〓 中島孝博▽市民部(主査) 〓 前田怜子▽市民部(主査) 〓 橋口健▽市民部(主査) 〓 伊藤博子▽市民部(主査) (併) 社会福祉協議会 〓 小林由紀子▽市民部(主査) 〓 小副川律子▽市民部大坪保育園(主査) 〓 山下純子▽市民部牧島保育園(主査) 〓 野村万里子▽市民部松浦保育園(主査) 〓 池田瑞枝▽市民部大川内保育園(主査) 〓 吉岡美和▽市民部南波多保育園(主査) 〓 山口仁美▽産業部(主査) 〓 井上浩一▽建設部(主査) (併) 土地開発公社 〓 馬場芳史▽水道部(主査) (併) 建設部 〓 中島一郎▽水道部(主査) 〓 畑島康幸▽教育委員会(主査) 〓 田中寛子▽教育委員会(主査) 〓 山口真由美▽教育委員会(主査) 〓 山口真由美▽教育委員会(主査) (併) 市民部 〓 小柳良子▽教育委員会(主任) 〓 佐々木康之▽教育委員会黒川幼稚園(主任) 〓 岩崎貴子▽(出向) 伊万里・有田地区医療福祉組合(主査) 〓 関賢一郎

〔一般職員〕

▽総務部総務課付(佐賀県派遣) 〓 南亮介▽総務部総務課付(佐賀県派遣) 〓 原保浩▽総務部総務課付 〓 稗田宗徳▽総務部 〓 湯村慶▽総務部 〓 松永剛育▽総務部 〓 青木亨▽総務部 〓 今泉武士▽総務部 〓 諸岡結香▽(併) 総務部 〓 中野陸高▽政策経営部 〓 林飛鳥▽政策経営部 〓 佐藤拓郎▽政策経営部 〓 川原大介▽政策経営部 〓 桑本祥平▽政策経営部(併) 土地開発公社 〓 山本主悟▽政策経営部(併) 土地開発公社 〓 川添悠輔▽市民部 〓 徳田美穂▽市民部 〓 川原亜樹▽市民部 〓 溝江拓朗▽市民部 〓 大川内卓己▽市民部 〓 長野智之▽市民部 〓 稲澤庫雄▽市民部伊万里保育園 〓 樋渡千恵▽市民部大坪保育園 〓 本山友理▽市民部大坪保育園 〓 前田京子▽市民部牧島保育園 〓 中尾和香子▽市民部松浦保育園 〓 山口恵佳▽市民部松浦保育園 〓 藤田裕子▽産業部(併) 土地改良区 〓 中島康裕▽産業部 〓 山口豊彦▽建設部 〓 田代みゆき▽建設部 〓 副島純一▽建設部 〓 野村和也▽建設部 〓 荒木秀平▽出納室 〓 酒谷恵美▽水道部 〓 田代哲也▽議会事務局 〓 吉田宏治▽教育委員会(併) 政策経営部 〓 南里一幸▽教育委員会 〓 松尾洋貴子▽教育委員会 〓 田中敏郎▽教育委員会(併) 建設部 〓 松尾俊典▽(出向) 伊万里・有田地区衛生組合 〓 宮脇睦子▽(伊万里・有田消防組合) 〓 松尾将志

〔新規採用職員〕

▽総務部 〓 金子洋輔▽総務部 〓 多久島景子▽市民部 〓 田中智子▽市民部 〓 久我龍太郎▽市民部 〓 藤本麻美▽市民部 〓 百武歩美▽市民部 〓 吉田知加▽市民部 〓 緒方絢香▽市民部伊万里保育園 〓 地原有香▽市民部南波多保育園 〓 梶山沙恵▽産業部 〓 田尻将平▽産業部 〓 松園秀平▽産業部 〓 松尾海輝▽産業部 〓 川原悠雅▽産業部 〓 宇都宮涉▽建設部 〓 栗原尚輝▽建設部 〓 小原大地▽建設部(併) 水道部 〓 吉富俊輔▽水道部(併) 建設部 〓 山口真理恵▽教育委員会(併) 総務部 〓 吉村亜沙美▽教育委員会(併) 総務部 〓 原口聖司

〔再任用職員〕

▽(市民部) 〓 松永典子▽(市民部) 〓 高木留美子▽(市民部) 〓 田中誠子▽(教育委員会(併) 市民部) 〓 吉原伴彦▽(教育委員会(併) 総務部) 〓 木戸正弘▽(教育委員会(併) 総務部) 〓 山崎淳一▽(教育委員会(併) 総務部) 〓 川内幸人▽(教育委員会(併) 総務部) 〓 前田稔▽(教育委員会) 〓 平井裕▽(教育委員会) 〓 岡崎恵美子

異動者数 178人

自分たちの市民活動をPRしませんか 市民活動団体を応援します！

市では、市民と活動団体および行政との協働のまちづくりを推進しています。市民交流プラザを拠点に団体間の連携・交流を図る市民ネットワーク『いまり』の自主的な活動の支援に加え、市内でさまざまな公益的な活動に取り組んでいる団体をPRしています。



■市民活動とは

営利を目的とせず、市民の自主性・自発性に基づくもので、不特定かつ多数の人の利益増進のための活動をいいます。さらに市民の皆さんに対して開かれ、宗教や政治を目的としない活動をいいます。

■PRできる団体

市内において、3人以上で市民活動を行う団体です（宗教団体や政治団体、企業団体は除きます）。



→市民活動団体の情報を取りまとめたハンドブックと広報紙

■PR方法

市民活動団体の情報を、市のホームページに掲載します。

■申込方法

申請書に会則などを添付し、提出してください。内容を審査した後、市のホームページに掲載します。

※申請書は、まちづくり課に備え付けています。また、市のホームページからもダウンロードできます。

●問合せ先

まちづくり課まちづくり推進係
☎☎2114

狂犬病予防注射を再実施します

狂犬病の予防注射を再度実施します。5月14日（日）までの通常期間（日程や場所は市役所日より3月号に掲載）に済ませていない飼い主は、最寄りの場所で受けてください。本年度の各町公民館での実施は今回が最後となります。

●問合せ先 環境課生活環境係
☎☎2144



月日	場所	時間
6月6日（火）	大坪公民館	9:00～9:30
	市民会館	10:00～10:30
	牧島公民館	11:00～11:20
6月8日（木）	立花公民館	9:00～9:20
	大川内公民館	9:30～9:50
	松浦公民館	10:10～10:30
	大川公民館	10:50～11:10
	南波多公民館	11:30～11:50
	波多津公民館	13:00～13:20
	黒川公民館	13:40～14:00
	山代公民館	14:20～14:40
	東山代公民館	15:00～15:20
二里公民館	15:40～16:00	

※どの場所でも受けられます。
※予防注射の通知ハガキが届いている人は必ず持参してください。
※上記の日程で受けられない場合は、獣医科医院などで済ませて、環境課まで届け出てください。

●料金

予防注射 3,150円

※新しく犬を飼った場合は、別途登録料（3,000円）が必要です。

●市内の獣医科医院など

- あつぶる動物病院 ○おさ動物病院
- 鈴木犬猫病院 ○田中動物病院
- 富沢動物病院 ○山口獣医科医院
- 伊万里有田地区農業共済組合

給付金の申請はお早め

経済対策臨時福祉給付金の対象者には、3月に申請書を送付しています。申請期限を過ぎると支給されません。必ず期限内に申請してください。

●申請期限

6月1日（木）必着

●対象

平成28年度分の市民税（均等割）が非課税の人
※市民税課税者に扶養されている人や生活保護を受給している人は除きます。

●問合せ先 福祉課福祉総務係
給付金専用ダイヤル
☎☎1133

軽自動車税の納付はお早めに

●納期限 5月31日（水）

※納付書は5月中旬に郵送

●口座振替日 5月26日（金）

※残高不足にならないよう注意してください。

※身体障害者などで、一定の要件を満たす人は、軽自動車税の減免を申請できます。

※申請期限は5月31日（水）

●問合せ先 税務課市民税係
☎☎2148

助成します 『人間ドック・脳ドック検診』

日帰り人間ドック・脳ドックの受診費用を助成します。通常の半額程度の負担で受診できますので、ぜひ利用してください。

●対象

- ◆市国民健康保険加入者
- ▽受診時に40歳以上74歳以下の人（入院療養中の人は除く）
- ▽国民健康保険税の滞納がない人

- ▽4月以降に人間ドック・脳ドックを受診していない人
- ◆市内在住の県後期高齢者医療保険加入者
- ▽入院療養中でない人
- ▽後期高齢者医療保険料の滞納がない人

- ▽4月以降に人間ドック・脳ドック・長寿（特定）健診を受診していない人

●注意事項

- ▽必ず特定健診・長寿健診と一緒に受診してください。
- ▽どちらも人数制限がありません。早めに申し込んでください。

- ▽申し込みの際は、国民健康保険または後期高齢者医療の被保険者証と、印鑑を持参してください。

●申込・問合せ
長寿社会課医療保険係

☎2153



	日帰り人間ドック	脳ドック
自己負担額	11,760円	12,770円
指定医療機関	伊万里有田共立病院、伊万里松浦病院、隅田病院、西田病院、前田病院、山元記念病院	伊万里有田共立病院、西田病院、山元記念病院
検査項目	血液検査、尿検査、心電図など15項目	頭部MRI、血液検査、尿検査など11項目

『伊万里市犯罪被害者等支援条例』を施行しました

犯罪被害者やその家族が受けた被害の軽減や回復を目的とした支援を行うため、『伊万里市犯罪被害者等支援条例』を施行しました。

■条例制定の目的

犯罪被害者やその家族は、犯罪による生命や身体の直接被害だけでなく、精神的・経済的問題などさまざまな問題を抱えることとなります。また、うわさや心ない中傷などにより、二次被害を受けることもあります。この条例は、

犯罪被害者等が受けた被害の軽減や回復を図り、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的としています。

■条例の主な内容

- ▽市は支援施策を講じ、関係機関などと連携・協力を行います。
- ▽市民等は犯罪被害者等の名誉、生活の平穏を害することのないよう配慮し、市などが行う支援への協力に努めます。

▽総合窓口を人権・同和対策課に設置し、相談対応・情報提供を行います。

▽犯罪行為により死亡された被害者の遺族、または傷病（治療に要する期間が1カ月以上）を負った市民に見舞金を支給します。

▽市は犯罪被害者等に対する市民等の理解の増進に努めます。

●問合せ

人権・同和対策課人権・同和対策係 ☎2190

伊万里市国保健康マイレージ事業を開始します

定期的な健康診断の受診や運動など、自主的な健康づくり活動を行った場合に一定のポイントを付与し、ポイントがたまると特典を交付します。

●対象者 特定健診の対象となる40歳以上の国民健康保険被保険者

●ポイント・付与対象

- ▽15ポイント 特定健診、人間ドックの受診
- ▽5ポイント がん検診の受診（何種類受診しても5ポイント）

イント）、週1回以上の定期的な運動の実施

●達成要件 20ポイント以上

●特典（400人）

ふるさと応援寄附金の返礼品（2000円相当）から希望の一品を交付

●ボーナス特典（400人）

ポイント特典申込者が、前年度の特定健診を受けていない国民健康保険被保険者を紹介し、紹介された人が平成29年内に特定健診を受

診すれば各種がん検診（前立腺、肺、大腸、胃、子宮、乳）すべての無料クーポン（平成30年度用）を交付

※ポイント特典・ボーナス特典は申込者多数の場合は抽選となります。

※対象者には、5月末頃、特定健診の案内にチラシ兼ポイントカードを同封します。

●問合せ

長寿社会課医療保険係 ☎2153

利用しませんか まちづくり出前講座

市は、皆さんの身近な生活に関わる行政情報を提供し、市民参加によるまちづくりをめざすため『まちづくり出前講座』を開催しています。平成 28 年度は、開催回数 212 回、延べ 7,800 人の参加がありました。市職員が皆さんのもとへ出向き、知りたいことや聞きたいことなどについて話をします。希望する場合は、下記のメニュー表から講座名を選んで申し込んでください。



- 対象 市内に在住、通勤または通学しているおおむね 10 人以上の団体
- 時間 午前9時から午後9時までの間で、2時間以内
- ※ 土・日曜日、祝日を希望する場合は、担当課と調整後に決定します。
- 場所 市内のみ（受講場所は申込者で確保してください）
- 講師料 無 料
- 申込方法 受講予定日の2週間前までに、申込書をまちづくり課あてに郵送または直接提出してください。ファックスやメールでも受け付けています。
- ※ 申込書とメニュー表は、まちづくり課、各町公民館、市民センター、生涯学習センター、市民図書館、市民交流プラザに備え付けています。また、市のホームページからもダウンロードできます。
- 申込・問合せ まちづくり課まちづくり推進係 (☎ 2 1 1 4 ・ FAX 2 7 2 1 3)
メールアドレス machizukuri@city.imari.lg.jp

◆ 平成 29 年度 まちづくり出前講座メニュー表 ◆

ジャンル	番号	講座名
市 政	1	市政の動きについて（市長講話）
	2	行政改革について
	3	第5次伊万里市総合計画について
	4	伊万里市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
	5	伊万里湾の開発について
	6	伊万里市の国際交流について
	7	考えてみましょう！『男女協働参画』
	8	食のまちづくりについて
	9	市民との協働によるまちづくり（地域の元気推進事業を含む）
	10	ふるさと納税制度について
	11	地域情報化の推進について
	12	伊万里市の家計簿（財政）
	13	予算のみかた ～税金の使われ方から財政状況まで～
まちづくり	14	伊万里市の公共交通について
	15	地籍調査の話
	16	道路の話
	17	都市計画の話
	18	下水道の話
福 祉 ・ 健 康	19	高齢者福祉について
	20	介護保険について
	21	認知症サポーター養成講座
	22	介護予防について
	23	国民健康保険について
	24	後期高齢者医療制度について
	25	生活習慣病予防について
	26	健康づくりについて
	27	歯の健康づくりについて
	28	知っておきたい子どもの病気と手当
	29	障害者総合支援法について
	30	伊万里市の子育て支援の取り組みについて
	31	生活保護制度について
	32	伊万里市の婚活推進事業について

ジャンル	番号	講座名
くらし	33	伊万里市の防災について
	34	国民年金について
	35	市税について
	36	消費者トラブル防止について
	37	水道の話
	38	防火教室
	39	救急教室
環 境	40	家庭でできる地球温暖化対策
	41	ごみの分別とリサイクルについて
	42	犬・ねこの飼い方について
	43	伊万里市の環境の状況
産 業 ・ 観 光	44	伊万里市の農業について
	45	伊万里市の林業・水産業について
	46	伊万里市の商工業について
	47	伊万里市の観光について
	48	農業者年金について
	49	農地の転用、売買、貸借について
教 育 ・ 文 化 ・ ス ポー ツ	50	子どもの生きる力について
	51	家庭教育について
	52	青少年の育成について
	53	人権・同和問題について
	54	伊万里の文化財
	55	伊万里の史跡めぐり
	56	伊万里の資料館見学ガイド
	57	図書館のデータベース活用方法
	58	家読について
	59	絵本の見せ方、読み方、選び方
	60	新体力テスト及びニュースポーツの指導
選 挙	61	明るい選挙について
その他	62	その他（希望講座を相談してください）

※この講座は、苦情や陳情の場ではありません。

『住宅耐震診断費臨時補助』・『住宅耐震改修費補助』が始まります

いっどこで起きてもおおしくない大地震。熊本地震では多くの古い住宅が被害を受けました。市では、市内の住宅や建築物の所有者などが耐震診断を行う場合、住宅の耐震診断補助制度の臨時的な拡充と、新たに耐震改修補助制度を始めました。

耐震診断や耐震改修を行うことで、建物の耐震性への不安の解消と震災に強いまちづくりを目的とした制度です。

●補助対象
昭和56年5月31日以前に建築または工事に着手した、所有者自らが居住する一戸建て住宅

◆住宅耐震診断費臨時補助

●補助内容
耐震診断費用の6分の5を補助します。

《現況図面がある場合》

- ▽耐震診断費 6万円
- ▽補助額 5万円
- ▽自己負担額 1万円

《現況図面がない場合》

- ▽耐震診断費 9万円
- ▽補助額 7万5000円
- ▽自己負担額 1万5000円

※診断は、佐賀県木造住宅耐



震診断登録建築士に依頼することが条件です。
※平成30年までの申請が対象となります。

◆住宅耐震改修費補助

●補助内容

耐震診断の結果、耐震性が不足していた場合に、耐震改修費用（限度額280万円）の23割を補助します。

《例1》

- ▽工事費用 100万円
- ▽補助額 23万円
- ▽自己負担額 77万円

《例2》

- ▽工事費用 350万円
- ▽補助額 64万4000円
- ▽自己負担額 285万6000円

※申請方法などの詳細は、市ホームページを確認してください。

●問合せ 都市政策課建築住宅係
☎2464

小規模土地改良事業の申請受付

農業基盤の整備を図るため、小規模な土地改良事業を共同で施工する場合に補助金を交付します。

●対象事業 事業の受益農地が1ha以上で、受益戸数が5戸以上ある農道舗装・水路改良・ため池工事など

●補助率 事業費の50%以内

●補助金額の上限 35万円

●申請方法 計画地区ごとに、申請書に現況写真を添付して区長名で申請してください。

●申請期限 5月31日（水）
※昨年未認可となった地区は再申請が必要です。

●問合せ 農山漁村整備課農地農村係
☎2591

ご寄付 ありがとうございます

次の方からご寄付をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

※3月1日～31日受付分
（敬称略、希望者のみ掲載）

▼防滴小型メガホン 16個
公益社団法人伊万里有田法人会

▼鉛筆削り器 22個
伊万里商工会議所女性会

▼は篤志寄付です。

市長雑感

伊万里市長
塚部 芳和

母校閉校

誰しも母校の校歌は、何年経っても一小節くらいは覚えていけるものです。

私の母校である波多津小学校の校歌は『玄界灘の潮（うしろ）のように：』と始まります。しかし当時は歌詞の意味をよくわからないままに口ずさんでおり、『玄界灘の後（うしろ）のように：』と歌っていたのは、今思えば大変恥ずかしい限りです。

3月25日、その母校が閉校し、明治8年の開校から141年の歴史に幕を閉じました。と同時に同町内の波多津東小学校も閉校しました。両校の閉校式では、それぞれの校長から校旗の返納を受けましたが、何とも言えない寂しさと、果たしてこれでよかったのかと

自問自答の繰り返しで、罪悪感にさいなまれました。両校の児童数は減少の一途を辿り、統合は避けられない状況で、市長である私にとつて、2校を閉校するという決断は苦渋の選択であり断腸の思いでした。

母校の波多津小学校は、校舎が老朽化しており建設も困難なことから、比較的新しい東小学校の校舎を、新たな波多津小学校として開校することになりました。地理的な隔たりは生じますが、児童や保護者、地域の皆様には、深いご理解を賜り、感謝の念に堪えません。くしくも自分の母校の閉校に立ち会えたのは運命の巡り合わせかもしれませぬ。私を含め卒業生全員の母校への愛着と思い出は永遠に宝として心に刻み込まれることと思います。そして、次世代の子どもたちには、これからの新たな歴史を創り出してもらいたいと願ってやみません。

まだ現存している小学6年間を過ごした木造平屋建ての学び舎に、ありがとうと一礼をして母校を後にしました。